

キャラクター名
桜中日ノ出／さくらなかひので

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	高校生	カヴァー	生徒会書記
	パロール			年齢	18	性別
オプション			衝動	飢餓	初期侵食率	14 %
覚醒			経験	約束	邂逅	『蒼白の司書 (アンジェラ)』
出自	天涯孤独					

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	1	0			3	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	3	0	0			3	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
《白熱》		0	4	6		
なんかすこくつよいばんち	白兵	7r+4		11		《コンセントレイト・パロール》+《漆黒の拳》+《瞬足の刃》
ちょうすごいばんち	白兵	7r+4		11+X		《コンセントレイト・パロール》+《漆黒の拳》+《瞬足の刃》+《縮退機関》

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
応急手当キット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
黄泉還り	P	N		
天涯孤独／理解者 (お察し)	P	感服	N	憤懣
約束／約束の相手	P	好奇心	N	悔悟
『蒼白の司書 (アンジェラ)』	P		N	
	P		N	
	P		N	
	P		N	

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
空間圧縮	2	2	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果:	1S/LV回／対象は戦闘移動を行う							
白熱	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	素手データ変更							
縮退機関	3	2	マイナー	至近	自身	技能	リミット(準lv5)	
効果:	[LV*2]までHP消費/[消費HP*2]火力上昇							
コンセントレイト《パロール》	2	2	メジャー	-	自身	-	シンドローム	
効果:	C値-lv							
漆黒の拳	5	3	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果:	攻撃力+Lv/装甲無視							
瞬速の刃	3	3	メジャー	至近	単体	対決	-	
効果:	判定ダイス+[LV+1]							
偏差把握	★	-	メジャー	視界	シーン	自動	-	
効果:	周囲の物体の位置や移動ベクトルを重力負荷で把握する。／普通の子供からこういうのに頼らないと。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「あー、あー、おはようこんにはこんばんは。私は桜中日ノ出。えー、■市高校三年生生徒会執行部書記長。最後の記憶はお昼ごはんを生徒会室で食べていて、鮭の骨抜き忘れた畜生ファックキューとなっているところを、風紀委員長が差し出してくれた烏龍茶で機嫌をなおしたところ——、

——うん、よし、大丈夫。記憶はバッチリだ。でもなんだったって、こんなところにいるんだろなあ。わからない。わからないからこそ、突き詰めて、徹底的に暴かなきゃあいけないんだ」

「納得できないならば、きちんと突き詰めて最後までやらなきゃだめだ。
彼女は独特のこだわりを持っている。何をしても、何をしても、不幸になるからね——それが、一番最悪の結末だよ」
「私は、キミを助けると決めた。ならば、意地でもこの手を取ってもらおうよ。何より、これは私のためのだからね」

■市高校三年生。生徒会執行部、書記長を務めている女性。人を食ったような話し方が特徴で、よく誰かをからかっている。しかし、真摯にならなければならぬことには狂的なまでに真っ直ぐ向き合う。
彼女は独特のこだわりを持っている。何をしても、何をしても、不幸になるからね——それが、一番最悪の結末だよ」
埋まらないなにかを埋めるかのように、中途半端を許さない。妥協が出来ない性格であるがゆえに、学業も体力づくりもその他諸々も熱中してしまい、慢性的に寝不足で、授業中も寝ていることがある。でもテストは点がいいとかいう周りから見れば腹の立つタイプ。

というのが、目覚めた段階で保有していた一応の記憶であり、自分が自分であるという一応の証明である。
■市高校の制服と、記憶だけが自己を証明する唯一の手段だ。

なんでもソツなくこなすが、ネーミングセンスだけは最悪ともいえないが微妙なラインでしか精製しないのが弱点。

なんかすこくつよいばんち